

「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第21号

平成30年12月12日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

H30年11月1日～11月30日

- ・見守り活動(高齢者) : 7件
 - ・見守り活動(児童) : 2件
 - ・水道パッキング修理他 : 1件
 - ・ごみ出し : 3件
 - ・戸の修理 : 1件
 - ・エアコンの掃除 : 1件
 - ・粗大ごみの搬出他 : 3件
- 計 : 18件

支えあい事業ボランティア大活躍



平成30年12月2日、東志賀学区自主防災訓練があり、支えあい事業のボランティアの皆さんに協力願い「炊き出し」訓練をしました。北区役所から大鍋を借り、本格的な災害をイメージした炊き出しとなりました。ご飯はビニールの袋にお米を入れて炊き、カレーを作りました。200人を超える大勢の参加者への炊き出しは初めての経験でしたが、十分な対応ができ、しかもご飯の炊きあがりも普通の炊き方と全く変わらず美味しくできました。カレーの具も豊富で、皆さんにとっても喜んで頂き万一の際の「炊き出し」に大きな自信になりました。ボランティアの皆さんのご協力のお陰であると感謝しております。

平成30年も残すところわずかとなりました。東志賀学区地域支えあい事業も開設して2年が過ぎ、たくさんの困りごと相談に対応してまいりました。人生100年時代の到来で健康で長生きが求められ、地域のつながりと助け合いを一層強力に地域に浸透させていきたいと思っております。

一つ一つの困りごと相談への対応が新たな地域のつながりとなって、安心して暮らしができる「ともに暮らす東志賀」の大きな輪となっていくことを願っています。まもなくあらたな年を迎えるにあたり、ボランティアの皆さんをはじめコーディネーターとともに明るく楽しく活動をしてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

困りごとはコミセン窓口へ

お電話でも受け付けいたします

開設日時：毎週水・金曜日 9:30～12:30

☎ : 080-3651-7435

家の中の高いところの作業で怪我が怖いとか、重いものを持ち足腰を痛めるとかの事故のないように何回でも結構ですので、私たち支えあい事業ボランティアにお任せください。

「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第22号

活動報告

平成31年2月12日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

H30年12月1日～H31年1月31日(2か月分)

- | | |
|-------------------|--------------|
| ・見守り活動(高齢者) : 14件 | ・電球の交換 : 2件 |
| ・見守り活動(児童) : 4件 | ・庭の枝切 : 2件 |
| ・部屋の掃除 : 1件 | ・植木の移動 : 1件 |
| ・灯油の買い出し : 2件 | ・サロンの送迎 : 3件 |
| ・食器棚の修理 : 1件 | ・ごみ出し : 4件 |
| ・粗大ごみの搬出他 : 2件 | |

計 : 36件



利用者の声

近所の方に自宅の樹木が伸びて迷惑をかけているので剪定を依頼しました。
たくさんのボランティアさんの協力で長年の困りごとが解決しました。

ボランティアさんの声

大きく伸び切って道路にはみ出た庭木の枝を、ボランティアさんが次々と切り離しビニールの袋に入れて投棄する作業なのですが、直径10センチもあろう太い枝を細かく裁断して袋詰めする作業は思ったほど楽な作業ではなく初めての経験でしたが、このようなことができるのはボランティアさん18人の協力のお陰であると感謝しております。

つながり・支えあおう 地域社会のすゝめ 分科会 実践報告について

1月24日名古屋国際会議場 白鳥ホールにて名古屋市・名古屋市社会福祉協議会の主催による「つながり・支えあおう 地域福祉のすゝめ」の分科会“どう巻き込む！ちいさで広がる支えあい活動”にて「～ともに暮らす地域の実現を目指して～」をテーマに講演し、ボランティアさんと一緒になって活動している様子やみんなにこの活動を知ってもらう為に何をしているかを発表しました。多くの方々の参加のたまものです。これからも広がっていきましょう。

困りごと相談はコミセン窓口へ

開設日時: 毎週水・金曜日

9:30～12:30

080-3651-7435

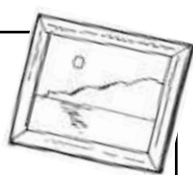
(開設日のみ)

コミセンまつり

日時: 3月9日(土)

午前10時～午後3時

場所: 東志賀コミセン



皆さんの活動成果をこの3人で発表しました



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第23号

平成31年3月12日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

H31年2月1日～H31年2月28日

- | | |
|------------------|---------------|
| ・見守り活動(高齢者) : 7件 | ・電球の交換 : 2件 |
| ・見守り活動(児童) : 3件 | ・庭の枝切 : 1件 |
| ・サロンの送迎 : 5件 | ・ごみ出し : 2件 |
| ・トイレの修繕修理 : 1件 | ・ごみ分別と搬出 : 2件 |
| 計 : 23件 | |



つくしの盆栽を作りました

利用者の声

外出しづらくなっていたら、区社会福祉協議会といきいき支援センターの方々が心配してくださり、サロンを紹介してもらいました。ボランティアさんと一緒にサロンに行き楽しい時間を過ごしました。ありがとうございました。

ボランティアさんの声

一緒に「ぐっカフェ*」に同行し、楽しい時間を過ごしました。サロンの雰囲気はとても明るく、様々なプログラムが用意され色々な体験ができました。この日は「つくしの盆栽」を作りましたが、洋裁が得意な方だったので手を貸すこともなく作られていました。その後脳トレの訓練があり“あっという間に”時間が過ぎてしまいました。楽しかったと言って下さり、帰りに息子さんの事を「優しい子」と幸せそうに話され、心があたたかくなりました。

*:海外から普及しています認知症カフェの一つで、ご本人とその家族たちの交流と支援することを目的にしているサロン（黒川ハウジングセンター内にあります）

コーディネーター : 後記

現在「ぐっカフェ・矢野生協サロン（大杉学区）・カフェサロンひがし志賀」のサロンの送迎をしながらボランティアさんと利用者の方々と一緒に参加しています。一人ではなかなか参加できない方の手助けになるとよいと思います。「私もサロンの送迎をお願いしたい」と思っている人はぜひ声をかけてください。

またご一緒に参加できるボランティアさんも連絡してください。

ちょっとした困りごとは相談窓口に！ お電話下さい

話し相手・電球の交換・ごみ出し・粗大ごみ回収 家事支援等 子どもの見守り等 何でも

☎080-3651-7435 毎週水・金曜日 9:30～12:30(開設日のみ)

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第24号

平成31年4月18日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

H31年3月1日～H31年3月31日

- | | |
|------------------|--------------|
| ・見守り活動(高齢者) : 6件 | ・電球の交換他 : 2件 |
| ・見守り活動(児童) : 5件 | ・庭の枝切他 : 2件 |
| ・サロンの送迎 : 3件 | ・ごみ出し : 3件 |
| ・水道漏れ修繕修理 : 1件 | ・洗濯機の修理 : 1件 |
| 計 : 23件 | |



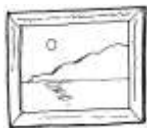
コミセンまつり (カフェサロンひがし志賀3周年企画)

日時 : 平成31年3月9日(土)

10時～午後3時

場所 : 東志賀コミュニティセンター

参加者 : 200名



作品展示は写真、絵、子供の絵、女性の会、フレンドリークラブ、トワイライト児童等の作品をたくさん出展していただきありがとうございます。

ダーツゲームでは参加者に景品が配られ大喜びでした。折り紙、バルーンにも多くの子どもたちが参加していただき、トワイライト児童のマジックショーにもたくさんの方が応援に来場してくれました。

カフェ・ぜんざいコーナーでは、白玉団子が好評で予想以上に早く無くなり急いで追加をしました。全員の方に食べて頂いたら良かったと思いました。

コーディネーター : 後記

初めての試みでしたが、展示作品も多く、展示するのも大変でした。また子どもたちの参加が多く、ダーツゲーム、折り紙、バルーンの体験では順番待ちが出るほどでした。

若い世代の方の参加が多かったのがうれしかった。

学区の皆様にはご協力いただきありがとうございます。



困りごとはコミセン窓口へ (お電話でも受け付けいたします)

開設日時 : 毎週水・金曜日 9:30～12:30 ☎ : 080-3651-7435

「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第25号

令和元年5月13日

活動報告

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

H31年4月1日～H31年4月30日

- | | |
|------------------|----------------|
| ・見守り活動(高齢者) : 7件 | ・生活相談 : 2件 |
| ・見守り活動(児童) : 5件 | ・庭の枝切 : 1件 |
| ・サロンの送迎 : 3件 | ・ごみ出し : 1件 |
| ・買い物の付き添い : 1件 | ・雨どいのゴミ取り : 2件 |
| ・生活小修繕 : 2件 | 計 24件 |



計：23件

利用者の声

主人が植えたキンカン、蜜柑、レモンの木は、よく実を付けてくれました。しかし、主人は88歳になり、腰を痛めたので、手入れが出来ません。今のままでは、お隣の方に迷惑をかけます。申し訳ありませんが、木を少し低くしてもらえると、有難たいです。

ボランティアさんの声

- ご主人はよく町内を散歩されていました。お役に立てて喜んで頂ければ、やりがいがあります。助け合いですから、お互いに体を大事にしていきたいものです。
- お隣との境を気にしてみえました。作業を始めたからお隣の方も協力して頂いてよく出来たと思います。多くの方が一斉に作業をする様子は気持ち良いですね。これからもお手伝いさせて貰います。

コーディネーター : 後記

利用者の方から、庭がさっぱりして気持ち良くなりました、大勢の方に来て頂いて、お礼の言葉もありません、とおっしゃって頂けました。

作業は4月23日。この日、急に温度が高くなったこともあって、バテ気味になる人もいました。参加者が多く12名。1時間で作業は終わりました。これからもっと暑くなります。ボランティアの人は、お互い、体調管理をして、熱中症にならないよう、気をつけて作業しましょう。

ちょっとした困りごとは相談窓口に！ お電話下さい

話し相手・電球の交換・ごみ出し・粗大ごみ回収 家事支援等 子どもの見守り等 何でも

☎080-3651-7435 毎週水・金曜日 9:30～12:30(開設日のみ)

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第26号

令和元年6月12日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和元年5月1日～5月31日

- ・見守り活動(高齢者) : 6件
- ・生活相談 : 1件
- ・見守り活動(児童) : 6件
- ・生活小修繕 : 1件
- ・サロンの送迎 : 1件
- ・粗大ごみの搬出 : 1件
- 計 16件



利用者の声

初め、掃除機の修理をお願いしたことがきっかけでした。親戚の子に貸した掃除機が戻って来たものの、使い方が分からず、使い方をアドバイスしてもらいました。当時、ガンの手術をしたばかりで不安な気持ちでした。そんな私の気持ちを察せられたのか、担当者の方から支えあいのシールを頂き、いつでも連絡するようとおっしゃいました。それから自分の身体が心配になり、夜も眠れない日が続き、何回か病気の話や家の整理などの相談に乗っていただきました。家の整理も、支え合いで何とか出来るとの返事をもらいました。どなたも不安な私の心によく寄り添って頂きました。こういう私の心配事の相談に乗って頂いたこと自体が嬉しいです。



マグネットシール：いつでも配布いたしますので下記に電話ください

コーディネーター：後記

支えあいは相談所です。お家を見させて貰った時、あまりにも綺麗に片付けられていた事に驚きました。病気の事は分かりませんが、あきらめずにおられる事に敬意を覚えます。ご本人にどれだけ寄り添えたか分かりませんが、今は元気になる事に望みをかけたいです。この紙面をお読みの方に申し上げます。皆さんもボランティアに参加なさいませんか。困った人に少しだけでも寄り添えればと思います。

ちょっとした困りごとは相談窓口！ お電話下さい

話し相手・電球の交換・ごみ出し・粗大ごみ回収 家事支援等 子どもの見守り等 何でも

☎080-3651-7435 毎週水・金曜日 9:30～12:30(開設日のみ)

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



「町を美しくする運動」と「わが街ウォーキング大会」

今回は、掃除で地域を「支える」「町を美しくする運動6月1日(土)」と、学区の人々を元気にする「わが街ウォーキング大会(6月2日(日))」を採りあげる。梅雨入り前に企画された二つの行事から、「支える」「支えられる」行動が学区内でどういう効果をあげているか、考えたい。

大勢の人が出た「町を美しくする運動」 町内の大掃除はどうであったか

U・R・S町内会の取り組みは、迫力があつた。参加した住民は、全戸の約6割から7割。450のボランティア袋にして100袋以上のゴミ(主に落ち葉や、庭木を剪定した時に出たゴミ)を集めた。この町内会はマンションの集合住宅の住民という性格から、管理組合と関係が深い。

初代の管理組合理事長は、現U・R・S町内会の会長である。会長によれば、管理組合を作る時、「住民が一齐に取り組める行事を作りたい。皆で取り組み、住民同士の連帯感も増すし、交流に立つ。それには掃除がいい。」という管理組合の提案を受け入れ、町内の町美に参加するようになった。誰でもやる気になれば出来るし、敷地内の掃除は、言ってみれば自分の家の庭を掃除するみたいなもの、やって当たり前の事だ

町内会と管理組合がコラボして、掃除する伝統ができた。住民は何よりも自らの行動に自信と誇りを持ち、掃除という行為で培われた住民同士の絆は何よりのご褒美である。



志賀四丁目の町内会も多く住民を巻き込んだ。町内の道路に人溢れ、細かい路地の隅々まで綺麗に掃除した。普段、掃除しない溝の中も掃除し、マンションの人達も参加した。道端で出会うご近所の方と挨拶を交わし、一緒に作業する。共同の作業を通じてお互いの無事を確認する。どこの地域も抱えているのが空き家の悩み。長年、放置された汚さは心配の種。今年は空き家の清掃を行う。敷地内は出来ないが道路など敷地外は丁寧に片付けた。

元より、志賀四は普段から掃除が行き届いている。常日ごろの習慣がいざという時に役に立つ。



志賀三丁目の町内会は「初空子ども会」の存在が大きな役割を果たした。子ども会に関係する親子が60名ほど町美に参加された。親子で清掃する姿はいい。町内の人々が一齐に散り、ゴミを集めて、集積所に集める。子どもには未来があるし、人々の希望である。その子どもを守って、親が共同の作業をする。そういう姿は、今の日本社会に最も求められている。痛ましい子ども虐待の報道に接する度に、それとは真逆の姿が志賀三にある。子どもを大切にすると、自然と親同士の連携が生まれる。志賀三を軸に、東志賀学区全体がそういう地域、町になりたい。



黒川東の町内会 町内会の世帯数が少ない町内会である。ここは、まず分担区域を決め、住民がその地域を確実に掃除する。自転車置き場の裏側には落ち葉やゴミが溜まりやすく、そういう所もきちんと掃除してゆく。弱小町内会(?)は弱小のやり方で町美を迎える。でも、手抜きはしない。与えられ担区域を着実に綺麗にする。そういう方法もありである。



志賀一の町内会 今年は良かった。参加人数は10数名から飛躍的に増えた。黒川東と同様、世帯数が少ない町内会なので、参加者が増えると心強い。従来参加してくれた人に加えて、新しい人が参加した。これが嬉しい。少ない世帯数なので、新しい人が加わってくれれば、それだけで嬉しいものがある。



アーバン・シティコーポ町内会 アーバンラフレとシティコーポ黒川から成る町内会。



この集合住宅には、各棟の自転車置き場に清掃用の竹箒や、手箕(てみ)と呼ばれる塵取りが常備してある。誰もが好きな時にいつでも掃除できる仕組みである。

今年は敷地内の雑草取りと排水溝の掃除に狙いを定めた。参加者55名全戸の約4割。ボランティア袋は40袋が一杯になった。雑草取りは腰をかがめねばならない。かがむのが辛い人もいる。そういう人に違う掃除区域を作るべきだった。全体として雑草取りは進んだ。男性陣を中心に排水溝の掃除は徹底的に行った。多くの人が排水溝に溜まった落ち葉を拾い、掻き出した。普段、掃除しない所である。当初の狙いは貫徹できた。今後の課題として、管理組合ともっと提携することだ。シティコーポ黒川も前進があった。普段、管理人がいるマンションで掃除する必要はないから、勢い町美も活発でない。例年、参加者

はひとけたであったが、担当者の奮闘で13人まで増えた。画期的なことである。担当者の執念が生み出した産物である。この成果を次に繋げたい。

また、隣の東志賀小学校ではジュニアスポーツの少年達が掃除していた。彼らは普段使っている場所を丁寧に掃除していた、こういう姿もいい。

編集後記

汗をかいて掃除すると、その土地に愛着が生まれる。お金を出して他の人に掃除してもらおうと、綺麗になるが愛着までは生まれない。町美で自らの地域で掃除をするのは、自らの土地に愛着心を持つことだ。

全ての町内会を取材した訳ではないが、それぞれの町内会はその地域にあった最善の策を取りながら町美を迎えた。どれが一番かは問題でない。自らの地域にどう責任を持つかが大切だ。

また、掃除には無言の効果がある。「掃除して下さい」と100万回言うより、綺麗にするという行動は何かを教える。何よりも人々に連帯感が残る。皆で大掃除すると、地域を「支える」とことになるとは、こういう意味だろう。

短時間での取材で全ての町内会を取り上げることが出来なかったが、記事の内容には責任を持って書いたつもりだが、不十分な点があったらどうかご容赦願いたい。(支えあいコーディネーター・水野逸俊)

曇天の日に開かれた「わが街ウォーキング大会」

当日は曇り空。ウォーキングに最適。暑いと熱中症が心配だが、今日は心配は少ない。ウォーキング大会を「支える」のは「体育委員会」。参加者が完歩した後にぜんざいがふるまわれる。ぜんざい作りに励んだ「女性の会」。この二つの組織を取材した。

午前7時半、東志賀小学校に行くと、体育委員会のメンバーが全員揃っている。若い人が多い。きびきびと体がよく動く。倉庫から準備の器具を運ぶ。自らの器具以外に女性の会が使う器具も運ぶ。無駄な動きはない。よく訓練されている。

女性の会

女性の会のメンバーは、8人で準備。4人一組で、一組はコミセンで白玉作り、もう一組は東志賀小学校でお湯を沸かし、ぜんざいを作る。

まずコミセンに向かうとコミセンでは白玉作りをしていた。白玉粉と絹ごし豆腐を混ぜ、白玉を作る。普通水を入れるが、一切水は使わない。白玉に丸めたら、小さな白玉が列を連ねていた。この後、お湯に入れるそうだが、私はそれを見ずに東志賀小学校に向かう。とにかく、白玉作りは根気のいる作業だった。



体育委員会

小学校に戻ると、多くの人が集まっていた。すぐに開会式が始まる。山崎連絡協議会会長と坪井体育委員長の挨拶。最後に体育委員から歩く時に事故を起こさないよう安全に歩く時の注意があり、特に足の弱い人に配慮した歩き方をし、歩くのが遅いといって先頭を抜かして歩くと収拾がつかない。全員完歩を目指す為に色々な工夫や配慮を体育委員がする。



途中、瑠璃光橋辺りで隊列が立ち止まり、人々は一斉に下の御用水を見ている。何だろうと思ったらカルガモの親子が列を作って泳いでいた。カルガモは見た事はあったけれども、御用水で見たのは初めてだった。参加して歩いた人の特典だったのだろう。

先頭と最後尾が大切だ。最後尾は人々を追い立てる役目。先頭は弱い人を配慮しつつ、皆が元気良く歩けるようにする。事故を起こさぬよう、後ろまで目を配りながら、元気良く進む。

体育委員会はウォーキングの安全・安心という大目的をかけたが、繊細な人々への配慮という課題も忘れていなかった。

終わりに

歩いた人全員に完歩賞が用意されていた。心遣いが嬉しい。最後、出されたのは、ぜんざいに少しの塩昆布。疲れた体に甘塩っぱい味が体に染みていく。有難いし、美味しい。この気遣いも嬉しい。聞けば141名の参加者だった。全員無事終了。これが何よりだ。この為に全ての準備が費やされた。体育委員会、女性の会が「支えた」ものは、人々に元気を生み出す学区の行事だった。

「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第27号

令和元年7月12日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和元年6月1日～6月30日

- | | |
|------------------|-----------------|
| ・見守り活動(高齢者) : 5件 | ・生活相談 : 1件 |
| ・見守り活動(児童) : 6件 | ・ベランダネット張り : 1件 |
| ・サロンの送迎 : 1件 | (鳩対策) |
| ・ごみの搬出 : 1件 | 計 15件 |



利用者の声

ベランダに鳩が巣を作って困っていました。昔なら、大工仕事が得意な夫が何とかしてくれる筈でしたが、悔しい事に、二人とも80代になり、車椅子の生活です。鳩がむちゃくちゃな事をしても何にもできません。困っていましたら、町内会の人から、「支えあい」の事を聞きました。鳩がもう来ないようにしてほしい。そう話したら、町内会の手配で「支えあい」の方が見えました。綺麗にネットを張ってもらい、鳩は来なくなりました。ベランダからの眺めは夫の楽しみでしたが、ネットは透明であるかないか分からないくらいです。これなら、ゆっくり眺めを楽しめます。本当に有難うございました。

コーディネーター・後記

集合住宅に鳩が巣を作ることは、よくあることです。皆さん、困ってみえます。鳩が来ないようにするには、ベランダの全面に、鳩用のネットを張る事です。集合住宅の壁にネットを張る所は、少し苦勞しました。壁が古くなって、ネットと壁がくっつかないのです。いろいろ、工夫をして何とかできました。全面に張って、隙間から鳩が出入りしないようにする所が難しい所でした。作業するボランティアは4名。テキパキと作業は出来たと思っています。



ちょっとした困りごとは相談窓口に！ お電話下さい

話し相手・電球の交換・ごみ出し・粗大ごみ回収
家事支援等 子どもの見守り等 何でも

☎080-3651-7435 毎週水・金曜日

9:30～12:30(開設日のみ)

相談窓口：東志賀コミュニティセンタ



ボランティア交流会

日時:7月31日(水) 10時～12時

場所:東志賀コミュニティセンター

内容:第4次地域福祉活動計画の説明と
ディスカッション

誰でも参加できます

「ともに暮らす東志賀」

さ さ え あ い た よ り 第 28 号

令和元年 8 月 2 日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和元年 7 月 1 日～7 月 31 日

- | | |
|-------------------|------------------|
| ・見守り活動(高齢者) : 5 件 | ・ベランダの片づけ : 1 件 |
| ・見守り活動(児童) : 6 件 | ・水道パッキング交換 : 1 件 |
| ・サロンの送迎 : 2 件 | ・電球の交換 : 1 件 |
| ・ゴミの搬出 : 1 件 | ・ガスレンジ電池交換 : 1 件 |
| ・生活相談(騒音) : 1 件 | 計 19 件 |



利用者の声

高層階のマンションでひとり暮らし(80代)です。足が不自由になり、ベランダの荷物を片づけることが出来なくなりました。相談窓口で電話をお願いをして、ベランダがきれいになり毎日の生活の中で洗濯物を干す時、足がつまづく事がなくなり喜んでいきます。ありがとうございました。

ボランティアの声

○リーダーの的確な指示で手運びリレー(ベランダ→玄関→エレベーター→1階ゴミ置き場)で分別整理をしました。大変でしたが、利用者の方が喜んでいただきうれしかったです。(M.Oさん)

○初めての参加です。台車があったらよいと思った。ボランティアの人数が多いほど良いと思う。最後に環境事業所に連絡してその日に片づけられて良かったです。(K.Oさん)

○初めての参加でしたが、お手伝いの連絡があった時、何処で何をするか伝えてもらえば道具を持参することが出来たと思った。ベランダを見て色々と物が多いのに驚いた。どうしても体が不自由になると片づけるのが大変だと思いました。(T.Iさん)

コーディネーター・後記

ベランダの片付けは区社会福祉協議会職員、ボランティア8名の参加で1時間半程かかりました。支えあい事業の基本方針の一つ、自助、互助、共助で生活を支え合う地域作りを目指し、学区の中で孤独死、孤立死が減ることを願います。皆様ご近所の目配りをよろしくお願いします。

ちょっとした困りごとは相談窓口に！ お電話下さい

話し相手・電球の交換・ごみ出し・粗大ごみ回収

家事支援等 子どもの見守り等 何でも

☎080-3651-7435 毎週水・金曜日

9:30～12:30(開設日のみ)

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



盆踊り

日時:8月10日(土) 18時～21時

場所:東志賀小学校運動場

トワイライト児童たちが太鼓をたたきます。

応援よろしくお願いいたします。

「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第29号

令和元年9月16日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和元年8月1日～8月31日

- ・見守り活動(高齢者): 5件
 - ・粗大ごみ搬出の準備と搬出: 1件
 - ・ゴミ出し: 1件
 - ・庭の草取りと枝切: 1件
 - ・サロンの送迎: 1件
 - ・インターネット接続の確認: 1件
 - ・電灯修理: 1件
 - ・雨どい掃除: 1件
- 計 12 件



利用者の声

分譲マンションに暮らしていましたが、施設に入所することになり室内の粗大ゴミの搬出に困っていました。行政書士の方を通して、支えあい事業の方々のお力により無事終わることが出来ました。ありがとうございました。

ボランティアの声

民生委員としてお一人暮らしの方の友愛訪問に出向いた折、粗大ごみ搬出に困っているという相談を受けました。

施設入居前に足の骨折で治療中という不測の事態で大変お困りの様でした。早速コーディネーターに相談したところ、お手伝いいただけることになりました。8点もの粗大ごみ搬出は、他の居住者にご迷惑になると思い、前日から6名のボランティアさんと一緒に準備しました。

依頼者からは「ささえあい事業」の事は聞いていましたが、こんな形で利用させていただき「本当にありがとうございます」という言葉をいただきました。

行政書士の方からは素晴らしい事業であり、多くの地域に広がるとうれしいですというコメントをいただきました。

コーディネーター・後記

今回、粗大ごみの依頼では、行政書士の方が立ち会っていただきました。このような活動も今後あると思いますが、多方面の方々と連携を深めていくことも大切だと思いました。また、まだ活動していないボランティアさんをつなげていくことがコーディネーターの役割と思い活動していきたいと思っています。

ちょっとした困りごとは相談窓口に！ お電話下さい

話し相手・電球の交換・ゴミ出し・粗大ごみ回収

家事支援等 子どもの見守り等 何でも

☎080-3651-7435 毎週水・金曜日

9:30～12:30(開設日のみ)

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



南医療生協病院と「よってって横丁」の施設と意見交流会のご案内

日時:10月8日(火) 10時～11時45分頃

集合場所:JR 南大高駅前

「よってって横丁」2階ロビー

「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第30号

令和元年10月11日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和元年9月1日～9月30日

- ・見守り活動(高齢者) : 4件
- ・見守り活動(児童) : 5件
- ・サロンの送迎 : 3件
- ・電球の交換 : 1件
- ・ゴミ出し : 1件
- ・粗大ゴミ搬出の準備と搬出 : 1件
- ・家族、町内会長からの相談 : 2件
- ・病院の付き添い : 3件
- ・洗濯機処分の相談 : 1件
- ・高い所の荷物を降ろす : 1件

計22件



利用者の声

自分が高齢となり、明日のことがどうなるか心配でした。押し入れに荷物がありますが、自分一人ではどうにもならず、困っていました。北区の社会福祉協議会の人に相談したら、支え合い事業を紹介して頂きました。ボランティアの方が駆けつけて下さり、布団などを出して下さい、助かりました。昔なら自分で出来たことですが、今では何ともなりません。助けて頂いて、有難いと思っています。

コーディネーター・後記

依頼された方は90代の方と聞いていましたが、お会いすると元気な方で、90歳と聞いてこちらがびっくりするほどでした。ただ、10数年前に突然難聴になられて会話が不自由な様子でした。民生委員の方が中に入って頂いて、筆談で通訳して頂いたので、会話がスムーズに出来ました。ボランティアは4名で、押し入れにあった布団を手際よく搬出できました。利用者の方に喜んで頂いて何よりです。民生委員の方の協力もあって、気持ちよく仕事できました。有難うございました。

ちょっとした困りごとは相談窓口に！ お電話下さい

話し相手・電球の交換・ゴミ出し・粗大ゴミ回収
家事支援等 子どもの見守り等 何でも

☎080-3651-7435 毎週水・金曜日
9:30～12:30(開設日のみ)

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



第3回炊き出し訓練

日時：令和元年11月10日(日)

9時～12時

(同時開催:自主防災訓練)

場所：東志賀小学校

